

平成23年度 八洲学園大学事業計画書

1. 施設の概要

(1) 所在地

学校名	所有区分	郵便番号	学校(会場)所在地	電話番号	FAX番号
八洲学園大学	法人所有	220-0021	神奈川県横浜市西区桜木町7-42	045-313-5454	045-324-6961

2. 学生の概要

設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧(平成22年5月1日現在)

設置学部	学科	入学定員 (人)	編入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③科目等 履修生数 (人)	④特修生数 (人)	収容率 (%) ②÷①×100
生涯学習学部	生涯学習学科	800	400	4,000	943	762	9	23.6

(2) 平成23年度入学者数・卒業者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数	編入学者数	卒業者数 (終了者数含)	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正 科 生	80	70	80	60	—	10
科目等履修生	450	—	210	40	—	200
特 修 生	2	—	1	0	—	1

3. 教職員関係

(1) 平成23年度管理職の概要

職名	氏名	備考
学 長	山本 恒夫	留任
事務局長	山本 皓一	留任
事務局次長	朝比奈 るみ	留任
教務課長 学生支援センター長	林 正隆	留任

(2) 平成23年度教職員の概要

平成22年5月1日現在

		合計 (人)
教員	本務	21
	非常勤	60
職員	本務	7
	兼務	5

↓ ↓ ↓

平成23年度予定

		合計 (人)
教員	本務	男性 14
		女性 5
	非常勤	男性 45
		女性 17
職員	本務	男性 5
		女性 2
	兼務	男性 1
		女性 4

平均年齢は教員 52.6才、職員34.6才である

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

社会人学生が98%を占めることもあり、社会経済の影響を受けやすい状況にある。平成22年度についても、入学者目標数を達成したものの、単位重量制授業料であることから学生が履修単位数を抑える傾向が強く、必ずしも収入増にはつながらず結果となっている。

しかし、教職員一人ひとりが経営の観点に基づいて業務にあたり、社会のニーズに即したカリキュラムへの改革を行うとともに、入学検討者・在学生へのきめ細やかな対応や積極的な情報発信により入学者数・履修登録者数増に努めている。また、公開講座や外部ネットワークの構築など正課外での事業にも積極的に取り組むほか、人件費は総額裁量制を導入するなど財務状況の改善を図るべく努力している。

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

本学においては、平成21年度に文部科学省の学生支援G P「大学教育・学生支援推進事業(学生支援推進プログラム)」に採択された「社会人学生の学士力を高める学生支援プラットフォームの構築」の事業を平成23年度まで継続して実施する。また、他の学校・機関・団体との互恵的ネットワークの企画、構築、運営を行うため、平成22年度にネットワーク構築プロジェクト・チームを発足した。

開学7年目を迎えるに当たり平成22年度に受審した日本高等教育評価機構による認証評価については、教育課程編成及び教育方法の改善のためにPDCAサイクルを構築した上でその検討結果を全教員で共有し改善に向け努力している点や、大学の情報がホームページや教職員のブログなどを通して活発に発信されている点などが特に評価され、大学評価基準を満たしているとの認定を受けた。一方で評価課程において指摘された事項についても改革に生かすべく対応していく。

① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
21～23	G P「社会人学生の学士力を高める学生支援プラットフォームの構築」の継続事業	22年度事業を改善することにより学生支援プラットフォーム構築の達成を目指す。最終年度のため、3年間の事業成果を評価し課題を明らかにするとともに、補助終了後に継続させる具体的な計画を立案する。	

22～	ネットワーク構築計画の実施	<p>ネットワーク構築プロジェクト・チームにより、他の学校・機関・団体との互恵的ネットワークの企画、構築、運営を行う。</p> <p>①株式会社ナチュラルアートと提携し、「農業ビジネススクール」へのeラーニングシステム提供及び配信サポートを実施する。</p> <p>②株式会社エーアールと提携し、ひきこもり・ニート向けの学習支援の仕組みである「日本社会復帰大学」に正科生としての学習機会を提供する。</p>	平成22年度より継続実施となる2件の他、複数の団体とのネットワーク化を予定している。
23～	認証評価における指摘事項への対応	正科生数増、財政状況・教育課程の改善等の指摘事項に対応するため、「八洲学園大学ビジョン2010」・「中期計画」を改訂するとともに、「年度計画」の充実を図るべく各委員会で対応を検討する。	

① 施設・設備の整備計画

年 度	事 項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期	備 考

③ 授業料変更等

年 度	事 項	概 要
22	計画なし	

④ 卒業者数、就業者数、学位授与数の見込みについて

	卒業者数	就業者数	学位授与数の見込み
正科生	80	1040	80
科目等履修生	300	720	

⑤ 学生生徒の就職、進学状況について

大半が社会人学生であることから、必ずしも卒業と同時に就転職を希望するとは限らないのが実情であるが、国家資格をはじめ、科目修得認証を用意し、就転職、再就職、職場異動、地域活動への参入などに必要な能力の向上を図ることができるようカリキュラムを整備している。

その結果、企業・機関・団体のほか、生涯学習推進・社会教育行政、図書館への再就職・転職、現職場でのキャリアアップなどが多数報告されている。また、生涯学習、図書館・情報学、教育、福祉などの大学院への進学に加え、本学での学習継続を希望し再入学する者も増加傾向にある。

平成21年度に採択された文部科学省の学生支援G P「社会人学生の学士力を高める学生支援プラットフォームの構築」の事業を通じ、キャリアカウンセラーによる就職相談の実施および相談員の企業訪問による就転職先開拓など、支援体制の強化を図ってきている。引き続き、科目等履修生を含めた全学生の就転職状況の把握を課題とする。

⑥ 教職員採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
23	採用予定職種：専任職員	佐藤 絢
23	採用予定職種：非常勤講師 7名	土屋 陽一 担当科目「消費税法」「相続税法」 岸本 幸子 担当科目「NPO 法人の基礎」 永田 幸江 担当科目「社会保険労務(入門)」「社会保険労務(実務)」「キャリア・ディベロップメント」 半田 智久 担当科目「認識と判断の心理学(人の認識は以下になされているか)」 渡邊 一衛 担当科目「生産管理」 佐藤 翔 担当科目「資料組織演習」 中園 長新 担当科目「資料組織演習」
23	退職予定職種：なし	

⑦ 今後の課題について

学生数の増加と財務状況の改善が最重要課題である。ウェブベースドマーケティングプロジェクト・チームや学生募集・財政基盤確立プロジェクト・チームによる広報活動により、本学の認知度も徐々に向上してきている。増加傾向にある資料請求者からの出願率の向上を目指すとともに、エクステンションセンターによる公開講座や教員免許状更新講習等の強化、外部ネットワークの構築により正課外の事業による収入増についても今後の課題とする。認証評価でも指摘された正科生の増加については、「日本社会復帰大学」との提携による受入れを見込むとともに、新たな施策を検討し全学体制で取り組む。

また、築後23年になる八洲学園大学本館を維持するため、大規模修繕の計画および、その原資となる修繕積立金を計上も今後の課題である。平成23年度に修繕計画を作成し、修繕積立金を組入れるための準備を予定している。

5. 財務の概要

収入については、学生生徒納付金収入は平成22年度と同様の資料請求数を確保していることから昨年と同じ年間約600名の入学者を見込んでいる。また、経済状況が回復傾向にもあることから、学生一人あたりの履修登録単位数の増加による授業料収入の増額が見込まれる。学生生徒納付金以外についても、私立大学経常費補助金を増額するための対策を講じる他、公開講座や外部ネットワークの構築など多角的に収入増を図るべく全学を挙げて取り組む。

支出では、特任教授2名が退職し、専任教授2名が特任教授へ就任することにより人件費が抑制される。基本金組入額入力前ではあるが、対収入人件費比率を87.6%に押さえ、結果として当初予算の消費収支差額では11,160万円の支出超過まで圧縮している。依然として支出超過は続いているが財務状況改善に向けて努力している。